

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校名	〈小47〉 いわき市立泉小学校		
〈実施日〉	平成 28年 7月 19日 (火)		
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。		
1 理科	② 学級活動	3 総合的な学習の時間	4 その他 ()
〈実践内容〉	第5学年 「健康的な生活を送るために」		
1 ねらい	がんなどの病気になる原因はいろいろあることを知り、健康的な生活を送るために心がけなければならないことは何かを考え、規則正しい生活を送ろうとする。		
2 学習内容			
段階	学習活動	時間	○指導上の留意点 ◇評価
導入	1 東日本大震災について知っていることを話す。 ・津波・原発事故・放射線	10	・震災については、避難している子もいるので、あまり深入りしないようにする。
	2 本時のめあてをとらえる。 <u>放射線と健康について考えよう。</u>		・放射線が健康に影響を及ぼすことを確認し、本時のめあてをとらえさせる。
展開	3 放射線とはどんなものか調べる。 ・放射能と放射線 ・目に見えない ・体に悪い ・身の回りにある (植物・宇宙・食べ物・X線など)	30	・今までに学習したことを想起させ、放射線とはどんなものかを調べさせる。 ・震災以前から、放射線は身近に存在していることを確認する。 ・自然にある放射線や病院のX線などによって受ける量では、健康を害する心配はないことを確認する。
	4 健康的な生活を送るためには、どうしたらよいか考える。		・放射線＝がんと結びつきがちだが、がんなどの病気を引き起こす原因はいろいろあることを確認する。
まとめ	5 本時のまとめをする。	5	・ワークシートをもとに、健康的な生活のために気をつけたいことを書かせる。 ◇放射線をできるだけ受けないようにするとともに、規則正しい生活を送ろうとする意欲をもつことができたか。
〈成果〉	<ul style="list-style-type: none"> 子どもたちは「放射線＝がん」というイメージを強くもっていたが、震災以前から身近に存在し、医療現場では私たちの役に立っていることを知ることができた。 放射線だけに気をつけるのではなく、がんを引き起こす要因は様々あり、規則正しい生活をするのがなによりも大切だと気づくことができた。 		
〈課題〉	<ul style="list-style-type: none"> 5年生にとって震災は、幼稚園の時の出来事であり、あまり覚えていないという児童が多い。そのため自分のこととして考えられない児童が多かった。 避難してきたり、放射線に敏感な保護者もいたりするので、どこまで指導すべきか、また言葉の選択などが非常に難しかった。 		
資料作成担当者職(教諭)	氏名(佐藤 久美子)	学校電話番号(56-6041)	

【資料作成上の注意】

- 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
- 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)